

2020年11月28日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

## FIA-F4 選手権 第11戦 決勝上位コメント

### ■ 第11戦 決勝1位 平良 響【#35 TGR-DC RS トムススピリット F4】



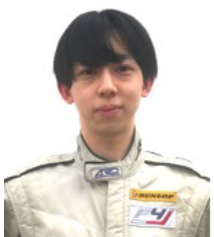
「第10戦からセットを変えて行ったのですが、これが良い形で機能してくれたおかげで非常に良いペースでラップを刻むことができたことが一番の勝因ですね。後ろにずっと平木選手がいたのですが、とにかく絶対にミスをしたくないように心がけつつ、最大限のプッシュを続ける感じでした。それなりに間隔もあったので、焦ることなく走りきることができました。チャンピオンを決めた後のレースでしたが、気持ちの上ではまったく変わることなく、いつも通りのこのレースに勝つ、ということだけを考えてレースができましたね。明日の最終戦ももちろん勝って、11連勝で終わって気持ちよくシーズンオフを迎えたいですね」

### ■ 第11戦 決勝2位 平木玲次【#62 HELM MOTORSPORTS F110】



「第10戦でクラッチが壊れてしまって、なんとかチームの皆さんが頑張ってくれて直してくれてこのレースに間に合ったので、なんとか優勝してお返しをしたかったんですが、ペース的にもちょっと厳しい中で、前のペースもあまり落ちなくて。ちょっと決め手に欠けたレースになってしまいましたね。タイトルは獲られましたが、なんとか一矢報いたいという気持ちで臨んだのですが、セクター1ではスリップについているのですが、なかなかスリップが効いている感覚がなくて。セクター2では僕の方が速いのですが、セクター3で合わせて最終コーナーを立ち上がっても、ストレートで抜け出せないままセクター1で離されて、という展開の繰り返しになってしまいました。明日の第12戦はポールポジションからのスタートなので、なんとかうまく対策を考えて、最後に良いレースをして終わりたいですね」

### ■ 第11戦 決勝3位 小川颯太【#77 WARMTECH SkillSpeed】



「コースインしたとき、アクセルを戻すところで引っかかりがあってスピンをしてしまったのですが、フォーメーションラップでなくて良かったです。決勝のスタートでは、このところ僕も分かってきてうまく決まったのですが、平良選手もうまくて。アウトから被せられる形になったので、自分としてもラインを相手に残さなければならなかったですし、トップには立てませんでした。そこからもっとクリーンなバトルをしたかったのですが、ちょっと平良選手のペースについていけなくて。平木選手にもかわされて、苦しい展開になってしまいました。SUPER GTの予選の後で、路面状況が変わっていて、周りはそれで走りやすくなったドライバーも多かったようですが、僕はその逆で……。自分の技量不足もあったかなと思います。それでも、明日が最終戦ですし、これまで今季は全戦完走を続けてきているので、まずはそれを続けつつ優勝することが目標ですね」

### ■ 第11戦 インディペンデントカップ1位 齋藤真紀雄【#96 CS Marketing AKILAND】



「第10戦がそれなりの順位でゴールできていれば、この結果を踏まえて明日の第12戦でもっと良い形でチャンピオン争いができたとは思いますが、まあレースですから何があるか分からないということは理解していますし、そこは真摯に受け止めて明日に臨みたいですね。この第11戦ではマシンの修理も間に合っ、クルマも元どおりに直していただいて、スタートからぶっちぎって優勝するレースができたので気分がいいです。チームに感謝したいですね。明日佐藤セルゲイビッチ選手が7位以上でフィニッシュしてしまうと、僕が優勝してもタイトルには届かない計算だと思いますが、まずは自分自身が良いレースをして優勝を目指せれば、と思います」